

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和7年 5 月 12 日

犬 山 市 議 会

議 長 大 沢 秀 教 様

議員名 ビアンキ 恵子

先 進 地

下記のとおり、調査の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和7年 5 月 9 日 (金) ~ 令和7年 5 月 9 日 (金) (泊 1 日)
(2) 場 所	三島市役所
(3) 形 態	会派 (無所属) : その他 (ビアンキ 恵子)
(4) 内 容	別 紙 1
	" 2
(5) 成 果 ・ 提 言	別 紙 3



三島市の取組には

1. フードシェアリングサービス(タベスケ)
2. メルカリショップの活用
3. もったいない市
4. トートバッグ型コンポストの実証導入

これらが一人の職員からのアイデアで始まり、彼の上司、続いて市長がやってみてという、前向きな考えから始まっていきました。

具体的に

1について ごみ排出量は減少しているが、県全体と比較すると少ない方ではないことから、色々勸化出した。食料品のロスを何とかできないかと、始めたのが、アプリや専用サイトからユーザー登録、協力店の登録などの努力を経て、食品ロス削減量約 2 トン、出品数約 3800 点、ユーザー登録数約 3,600 人。

2について 清掃センターに搬入された家庭ごみのうち、まだまだ使える粗大ごみなどをメルカリショップに出店し、リユース量が年間約 10 トン、年間収入約 150 万円→パッカー者のメンテナンスに使っている)

3について 市民から回収した「未使用の食器」やまだまだ使える五子服などを無償配布するイベントで来場者は 600 人以上。

4について 生ごみを減量するためと、環境意識の向上を目的として、トートバッグ型のコンポストを使って、庭がなくてもベランダでも使える、匂いもなく、コンパクトなトートバッグで持ち運びもできる。

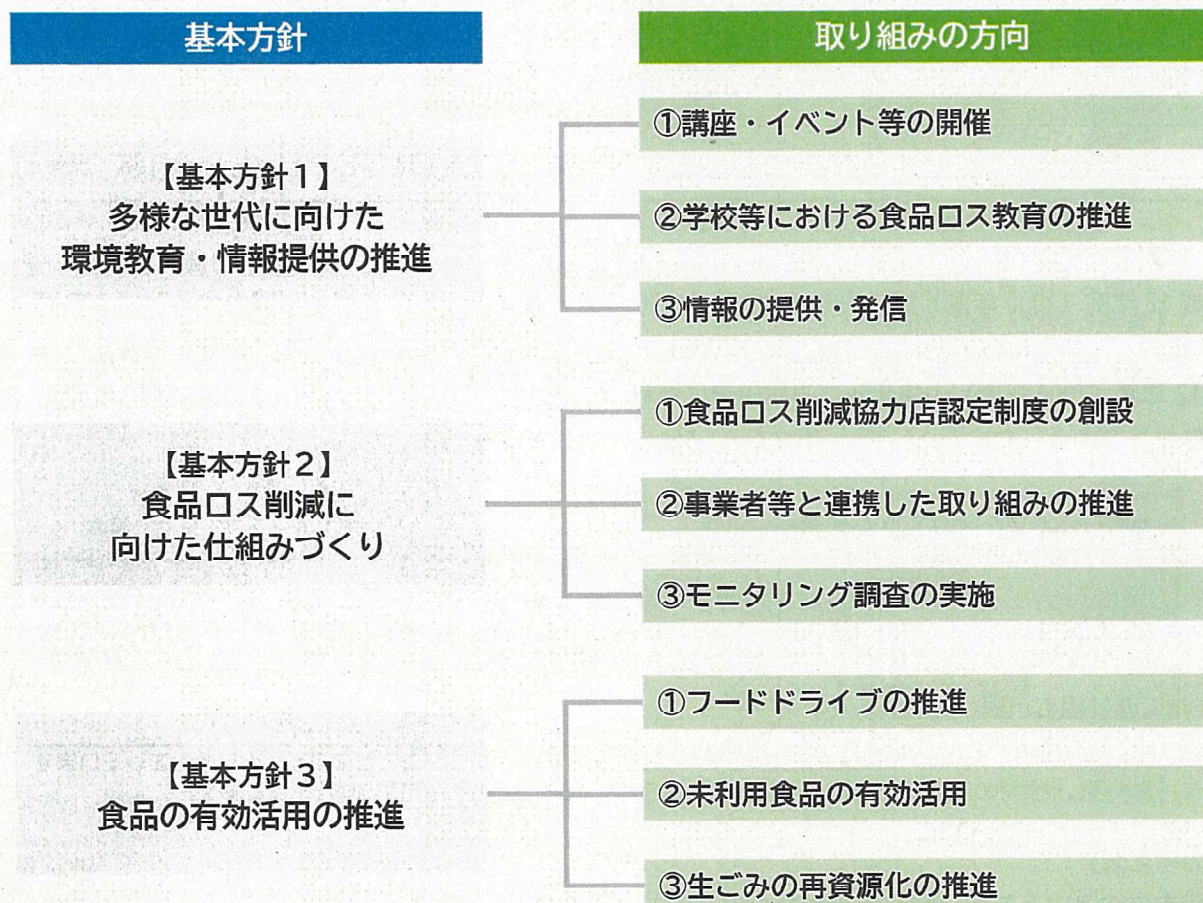
担当された三島市 環境市民部 廃棄物対策課 業務係の 山添 豊さんの熱意から始まったこの活動ですが、自分からこの課を希望され、捨てられている食品を目にし、出来ることが何かないからこれだけの取組に感動しました。たとえこの課に自分がいなくても、誰でも簡単にわかるマニュアルも作られ

ているそうです。自分も含めて贅沢病になっている中で、食品や服、家財などなどのもったいない意識を高める本当に大事な取り組みと考えます。

(添付資料あり)

食品ロス削減に向けた目標・取り組み

別紙 2 【基本理念】 環境への負荷が少ない持続的に発展が可能な社会の実現



食品ロス削減に向けた取り組み

【基本方針1】 多様な世代に向けた 環境教育・情報提供の推進	【基本方針2】 食品ロス削減に 向けた仕組みづくり	【基本方針3】 食品の有効活用の推進
- 食品ロス削減に向けた料理講座及び出前講座の開催 - 絵本等を活用した食育教室の実施 - ごみ減量情報誌「ごみ減量トレンドィ」等の広報誌の発行	「食品ロス削減協力店認定制度（仮称）」の創設及び店舗認定 - フードシェアリングアプリの導入検討 - ごみ組成分析調査の実施	- フードドライブの実施及び支援 - 災害用備蓄食料の有効活用 - 市民対象の生ごみ処理容器の無償貸与による生ごみの堆肥化推進

三島市食品ロス削減推進計画（令和6年3月）

三島市環境市民部廃棄物対策課

〒411-0000 三島市宇賀茂之洞 4703-94 TEL 055-971-8993 FAX 055-971-8994

e-mail haitai@city.mishima.shizuoka.jp

別紙 3

犬山市でもどれも出来る取り組みと考えます。

アプリの「タベスケ」については、県内でもすでに、豊田市、津島市、安城市、江南市が活用されています。また費用についても自治体の負担として、導入に 22 万、月額利用料 22000 円。

市として、先進例として、1 年間無料で、現在県とも会議をし、補助金の打診もされているということです。

市民にも店舗にも利点があり、市の活動に直接かかわることが出来るので、是非導入を考えるべきです。